

当院から日本心臓リハビリテーション学会 東北支部評議員に内藤副院長が就任！

評議員って？

学会は9つのブロックに分けられ（北海道、東北、関東甲信越・・・）それぞれに対し支部が置かれています。評議員は支部の運営に関して助言をする立場（任期2年、評議員会が年1回以上開催される規定）

青森県の評議員は弘前大学医学部附属病院、青森県立中央病院、八戸市立市民病院とともに、当院が選ばれました。これまでの当院の心臓リハビリテーション医療の実績が高く評価され、今後も青森県の心臓リハビリテーションを引っ張っていくことが期待されています。



評議員となった内藤副院長

心リハ理学療法士チームの話し合いと活動

心臓リハビリテーションチームでは理学療法士と作業療法士の2つの職種が活動しています。そのうち理学療法士は特に運動に対しての心臓の反応の評価や心機能に合わせた効果的かつバリエーションある運動処方得意としています。今年度から月1回、職種の専門性の観点から、現状の課題を見つけ、解決に向けた話し合いをしています。



経営学の観点も考えてます。

外来心臓リハビリのおすすめ

本誌にも一筆、掲載し、記事で多くの人に心臓リハビリの重要性を知ってもらいたい。心臓リハビリの重要性を知ってもらいたい。心臓リハビリの重要性を知ってもらいたい。



今回9月～11月の活動で、外来心臓リハビリのパンフレットを分かりやすく情報を整理しリニューアルしました。